



HIV 陽性/エイズ患者における液状栄養補充のウイルス量および血液検査値への影響

KEYWORDS// HIV 感染, エイズ, 栄養補充

注意深く選択された栄養補充は生活の質を高めることができる。微量栄養素の補充は HIV-1 感染者にとっては重要な予防と治療の対策であると考えられている。β-カロチンの毎日の補充はわずかではあるが、統計学的に有意に WBC や CD4+T 細胞を増加させる。また、ビタミン C や E の大量投与はウイルス減少をもたらすことなどが報告されている。著者らは HIV 陽性/エイズ患者の免疫状態および血液検査値への栄養補充の影響について、患者 35 人を対象として 3 か月にわたり検討した。栄養補充物はコキンバイザサ抽出物、グレープフルーツ種子抽出物、sitosterol

および sitosterolin, β-カロチン, ビタミン E, B₁, B₂, B₆, B₁₂ などからなり、患者はこれを 1 日に 2 回服用した。ウイルス量は栄養補充時間とともに有意に減少した。血液検査の MCV および MCHC は有意に増加し、栄養補充はこれらの血液検査値の改善に有効であった。しかし、栄養補充は CD4+T 細胞数の回復には効果がなく、細胞数は病気の進行とともに著しく減少した。

(Ogutibeju OO, Van Den Heever WMJ, Van Schalkwyk FE : Effect of a liquid nutritional supplement on viral load and haematological parameters in HIV-positive/AIDS patients. Br J Biomed Sci 63 : 134-139, 2006)

(埼玉県立大学短期大学部 鈴木優治)